



栃の子だより

平成 28 年 11 月 8 日

No.12

文責：寺島 寿一

あいさつ いのち うんどう・うたごえ えがお おもいやり

11月の校長講話 「なかよし月間」 全校テーマ “進んで友だちの和を広げよう”

1732年3月 アメリカ・バージニア州

001 一人の男の子が誕生



たくさんのいたずら

- 友だちの悪口
- 友だちのものを壊す
- 友だちにパンチ



お父さんとの約束

001

- 悪いことをしたら、柱にクギを打ち込む
- 悪いことをした数だけ打ち込む
- 良いことをしたら、クギを一本抜く
- いたずらは続いた
- そのたびにクギが打ち込まれていった
- クギの本数が増えていった

1732年アメリカのバージニア州で一人の男の子が誕生し、ジョージと名付けられました。すくすくと成長しましたが、たくさんのいたずらをして、お父さんを悩ませました。

お父さんは、ジョージに次の約束をしました。「悪いことをしたら、柱にクギを打ち込む」「良いことをしたらクギを抜く」しかし、ジョージのいたずらは続きました。

お父さんとの約束

001 ジョージの変化

- 家の手伝い
- 困っている友だちを助ける
- おばあさんの手伝い



- 友だちを悲しませる
- クギは増えたり、減ったり
- ある日、全部のクギが抜けた



お父さんの言葉

001 クギが抜けた柱

- 良いことをして、柱のクギが全部抜けた。
- もう一本もない。
- でも、このクギの穴は直すことは、できない。
- クギの穴を元通りにすることは、できない。

その言葉を聞いたジョージ

- クギが抜ければ、いいのではなく、クギを打ちつけてはいいがよい。
- 友だちにいたずらをした、周りの人を困らせたりすることは、心にクギを打ち込むことと同じ。

柱のクギを見てジョージも考え、変わっていきました。悪いこともしましたが、良いこともして柱のクギの数が減っていきました。そして、ある日すべてのクギが抜けました。

クギが抜けた柱を見てお父さんは、「良いことをしたので、柱のクギが全部抜けた」「でも、このクギの穴は直すことはできない。元通りにすることはできない」

その後のジョージ

001



- ジョージ・ワシントン
- 初代アメリカ大統領
- 1ドル紙幣の肖像画
- 「人間は、すべて平等であり、幸せになる権利を持っている」

その後、ジョージは一生懸命周りの人のために働き、初代アメリカ大統領になりました。「人間は、すべて平等であり、幸せになる権利を持っている」

おくって、だいじょうぶ？

え？



どういこと？

ネットにのこる そのことば



具合が悪いの？

そのことば
こころにささる
きょうきです

私、いぬい方がいいの？

LINEなどのSNSでやり取りされる短い言葉が、相手を傷つける「クギ」になります。「その言葉 心に刺さる 凶器です」「大丈夫？ ネットに残る その言葉」

活躍する小山小学校の子どもたち

須高クロスカントリー駅伝競走大会

須坂市ジュニア親善ゲートボール大会



三連覇

小山小学校からは、5年生2チーム、3年生3チームが出場しました。その結果、5年生のAチームが逆転での1位、5年生のBチームが3位となりました。小山小学校は、この駅伝大会3連覇を達成しました。

また、3年生チームもそれぞれ力を出し切り、たすきをつなぐことができました。



準優勝 & 県大会出場

初戦の日野小との試合を1ポイント差の僅差で勝ち抜き、優勝した須坂小には負けたものの通算成績3勝1敗で見事準優勝と松本で行われる県大会出場を決めました。

各試合で、ミラクル・スーパー・ショットも見られ、ゲートボールの楽しさ・難しさを実感できました。

須坂市内 卒業学年 親善音楽会

この日に備え、6年生は音楽会が終わった後も、朝や午後の学級活動の時間を使って練習してきました。

休憩後、最初の発表でしたが、自分たちの思いを込めて「ふるさと」と「樹形図」を力いっぱい歌い、ホールに響かせました。そして、聴いている他の小学校の友だちにも余韻を残すような素晴らしい合唱でした。

須坂市教育長の小林雅彦先生の講評は、以下の通りです。



「樹形図」

自信あふれる出だしが強く印象に残りました。どのパートも一音一音を大切にしています。歌詞の一言一言がこちらの心の中に迫ってきます。大迫力の演奏でした。

君たちなら、卒業の日まで、まだまだ追究できるような気がしました。

ジュニアエコノミーカレッジ in すざか

「ふるさと」

堂々とした「ふるさと」でした。

歌詞の一言一言を味わいながら歌い進めていく君たちの姿がとてもまぶしく感じる「ふるさと」でした。

南部地域文化祭



小山小学校からは5年生の「とちのこ smile」と6年生の「トッチィ・ガールズ」「Smile girls」が参加しました。

リンゴの果肉を活かしたマフィン、須坂動物園の動物や臥竜山をイメージしたクッキーなど、子どもたちのアイデアを地元業者さんの全面バックアップで商品化し、販売することができました。



今年も合唱団が南部地域文化祭に参加しました。

音楽会でも歌った「ドライボーンズ」「空のスタートライン」を美しい歌声と響きで会場の心をがっかりとつかんでいました。

また、閉会式での「ふるさと」も会場の皆さんと一緒にステージから歌い上げ、南部地域文化祭を締めくくりました。

